

こんもり密集した花が、まるで黄金色に輝く金平糖のよう・・・

園内各所で**イソギク**が咲いています。



2013年11月20日撮影

初霜が降り、寒さが一層厳しく感じられるようになりました。

国営ひたち海浜公園では現在、**イソギクが開花しています**。イソギクは属名の「chrysos anthemon」が「金の花」というラテン語に由来しているように、花びらの無い黄金色の小花が固まって咲く日本原産のキクです。小春日和の穏やかな陽だまりに群れ咲く姿は、まるで鮮やかな黄金色をした金平糖をちりばめたかのよう。また、葉の表面の濃い緑色と、葉裏の銀白色とのコントラストもとても美しい植物です。

海浜エリアでは海を背景に、記念の森レストハウス付近では階段から見上げたり、噴水を見下ろしたり、といった角度からお楽しみいただけるほか、園路沿いにこんもり咲いたり、園内各所で見る事ができます。

花の少ない時期ではありますが、晩秋の澄んだ青空の下で黄金色に輝くその姿をご覧くださいながら、園内散策をお楽しみください。

【茨城県版レッドデータブック】1997年版では**絶滅種**（本県ではすでに絶滅したと考えられる種）に指定されていますが、2012年改訂版では**情報不足②現状不明種**（最近の情報がなく、生育状態が不明の種）に指定されています。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 企画課 広報担当 服部・平田・安蔵・田中

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

イソギク キク科キク属

11月中旬～下旬

日本原産／多年草

花言葉：清楚な美しさ、感謝

本州の千葉県犬吠埼から太平洋に沿って静岡県御前埼までの間に分布し、海岸の岩石地や崖などに群生する20～40cmの多年草です。イソギクの名は、“磯に生える菊”ということから付きました。葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密に咲きます。イソギクは海浜部に自生し、本公園では主に下記場所で見られますが、他にも園内各所でお楽しみいただくことができます。



砂丘エリア

2013年11月20日撮影

自生地である崖を思わせる岩の間に咲く風情をお楽しみいただけます。



「記念の森レストハウス」前

2013年11月20日撮影

日当たりのよい斜面に咲いています。階段の上からは、噴水や翼のゲートが見えます。



常陸野サークル付近

2013年11月16日撮影

サイクリングで爽やかな風を感じながら、鑑賞できます。



グリーン工房付近

2013年11月20日撮影

石畳の小路の両脇に咲く姿を眺めながらゆったり散策してみても？

Topics

これからの時期、少しでも公園内で紅葉や黄葉が見られます。園内を散歩しながら“紅葉（黄葉）”探ししてみませんか？



イロハモミジ（南口エリア）2013年11月16日撮影



イチョウ（西口エリア）2013年11月16日撮影



メタセコイヤの並木道（南口エリア）

2013年11月9日撮影

プレスリリース

今後の予定

◆メタセコイヤの並木道の紅葉

◆『ぼっかぼか冬フェア』について

◆今年も登場アイスチューリップ